



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～



新年あけましておめでとうございます



西黒田地区の皆様、ご家族お揃いで爽やかな新春をお迎えになられたことと存じます。旧年中は「西黒田ふるさと振興会議」の事業運営・活動に対し格段のご理解とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、西黒田地域は住み良い自然環境なのですが、年々少子高齢・過疎化が進み、その結果一人住みの世帯が増え、家族で支え合うことができなくなってきており、家族機能が希薄化しコミュニティが崩壊しつつあります。日常生活の暮らしに必要な移動手段の公共交通機関も無くなり、その上このエリアには商業・金融施設が少なくそして診療所もなく、極めて深刻な状況になってきました。

昨年度はこのような課題解決に向け、西黒田地区民でボランティア団体「西黒田きんたろうサポート会」を設立。解消に一役を担って頂いております。そして高齢化や人口減少に伴う空き家が発生してきておりますが、空き家対策に関しましては、行政が取り組みを始めていただいております。今後地域でも取り組む必要性を感じており、まずは情報収集から始めていきたいと考えております。

このような地域社会が抱える課題を解決するにあたり、一番の難題と感じるのは、西黒田地区の「地域まちづくり」に向けて活躍頂ける役員の人材不足です。年々年金受給年齢が上がり、ボランティア的な役員不足に追いやられているのが現状です。

以上のことから、これからもなお一層「西黒田ふるさと振興会議」へのご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成 30 年が皆様にとって幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

西黒田ふるさと振興会議 会長 北村 隆



県道大野木志賀谷長浜線 拡幅改修期成同盟会

要望活動報告

平成 17 年より今日まで長年にわたり続けてまいりました要望活動が実を結び、第一期拡幅改修工事が平成 27 年度より始まりました。本年度は路線測量を終え、境界確定の段階となっております。来年度はいよいよ用地買収へと進んでいく予定ですが、さらに全線改修事業の着手に向け、去る 12 月 14 日(木)に藤井市長、川島県議、上野衆議院議員秘書 芝田氏らと共に県庁で要望を行いました。



三日月知事に要望書を渡す武田会長

〈回答〉

- ・具体的な道路法線や境界等の決定に際しては、沿線住民の意見、要望を十分に聞いたうえで実施していきたい。
- ・道路にかかる家の移転をどうしていくか。移転先の決定、代替地確保などが円滑に進むように、引き続き地元の支援・協力体制をお願いしたい。
- ・本年度の永久寺方面の説明会が終了。買収用地の線引きで変更部分もあったが、特に問題なく了解を得た。
- ・南長浜地区の将来ビジョンをしっかりと立て、その一環として大切な基幹道路としての役割が果たせるようにしたい。

県・市へ地域要望を提出

12 月 19 日(火) 西黒田ふるさと振興会議役員 4 名は、中嶋康雄市議会議員と共に滋賀県長浜土木事務所西嶋所長と藤井市長に地域要望書を手渡しました。

西嶋所長との会談では、台風による大雨が引き起こした自然災害への対策について、地元と県、市が連携して総力で解決していきたいとの回答がありました。また、川などに流出した土砂の処分地の確保に地元も協力してほしいとの要請がありました。

藤井市長との会談では、長浜南地域のまちづくりを確かなビジョンを持って進めていくこと、本庄山村広場の駐車場増設については、地権者と話し合うことも含め、前向きに取り組んでいきたいとの回答を得ました。(※詳しくは、各町の自治会長さんにお尋ねください。)



年末大そうじ奉仕作業



12 月 15 日(金)、各町シニア協議員・日赤奉仕団西黒田分団・更生保護女性会西黒田分区・シルバー人材センター西黒田班の皆さんにお手伝いいただき、まちづくりセンター施設内外の草むしり、植木の剪定、窓ふきなどをしていただきました。たくさんの人にご協力いただき、見違えるようにきれいになり、新しい年を迎える準備ができました。ありがとうございました。



